

Absolute space 18 (2011年)

松原昭俊個展「湧光」より (17~29日、京都、アートギャラリー博宝堂)

文

化

東京電力福島第1原子力発電所の事故をきっかけに、科学技術のあり方を巡る議論が広がっている。近代科学の原点にある精神を再検討し、

1月末に出た1冊の本が原子力関係者間で話題になった。原発事故の経緯について、有志の科学者が公開データを

いう思いがあった。だが18~19世紀の産業革命を機に科学観は大きく転換する。熱力学や電磁気学などの原理が産業に応用され、「有用な技術」と

OSK日本歌劇団の創立90周年記念公演が大阪松竹座で12日から始まった。「レビュー 春のおど

OSK日本歌劇団が創立90周年公演 (京都市)で「レビュー in Kyoto」として

五月十五日に小西行長と石田三成が明使二人をつれて名護屋城に着いた。その時には予定の半分も出来上がっていなかったが、秀吉は天守の絵に固執し、明使が帰国するまでに仕上げよと厳命したのだ。

「地の群青をぬることは我々にもできませんが、金の龍を描く仕事は若師匠と狩野光信さまにしかできません。そこで二人で持場を決めてやってもらいましたが、六月十五日に若師匠の足場が突然くずれしたのでございます」

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使った。結びの綱は麻入りを用いたのだろうか」

文化往来

なる感動の舞台にしたい」と話

OSKは1922年に松竹楽劇部として創立し、後に大阪松竹歌

等伯

安部龍太郎 西のぼる画

単なる工学と考えてきた。そのことが万能主義と盲信につながった。今それを反省すべきときに

「原子力やバイオテクノロジーなど危険を伴う分野では科学の技術化には慎重でなくてはならない。科学者は自らの研究の有用性を言い立てるだけ

「原子力やバイオテクノロジーなど危険を伴う分野では科学の技術化には慎重でなくてはならない。科学者は自らの研究の有用性を言い立てるだけ

科学のあり方を研究者と市民が話し合う集いも広がる(2月に仙台市で開かれた東北大学のサイエンスカフェ)

「危険な技術を使うのはやめよ」というのは短絡的。今やるべきなのは多様な学問分野から英知を

「津浪と人間」というエッセーで「人間の科学は人間に未来の知識を授ける」と述べた。原発事故という危機が図らずも

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使った。結びの綱は麻入りを用いたのだろうか」

科学見直し、文化の視点で

倫理・社会学からあり方示す 精神性 取り戻す必要



授(科学思想史)は「様々な社会的要因によって科学への信頼を支えている『客観性』そのものが揺らいでいる」と語る。

「危険な技術を使うのはやめよ」というのは短絡的。今やるべきなのは多様な学問分野から英知を

「津浪と人間」というエッセーで「人間の科学は人間に未来の知識を授ける」と述べた。原発事故という危機が図らずも

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使った。結びの綱は麻入りを用いたのだろうか」

交遊抄

陶芸家の加藤亮太郎くんに出会ったのは2年前のこと。甘党で日本茶好きの私は20年以上前から各地の茶寮に出入りし、次第に茶碗や皿に

五月十五日に小西行長と石田三成が明使二人をつれて名護屋城に着いた。その時には予定の半分も出来上がっていなかったが、秀吉は天守の絵に固執し、明使が帰国するまでに仕上げよと厳命したのだ。

原発事故契機に

「これは科学だけでなく、倫理・社会学からあり方示す 精神性 取り戻す必要」

「危険な技術を使うのはやめよ」というのは短絡的。今やるべきなのは多様な学問分野から英知を

「津浪と人間」というエッセーで「人間の科学は人間に未来の知識を授ける」と述べた。原発事故という危機が図らずも

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使った。結びの綱は麻入りを用いたのだろうか」

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使った。結びの綱は麻入りを用いたのだろうか」



震災後の科学を考える書籍や雑誌の刊行が相次いでいる

原発事故契機に

「これは科学だけでなく、倫理・社会学からあり方示す 精神性 取り戻す必要」

「危険な技術を使うのはやめよ」というのは短絡的。今やるべきなのは多様な学問分野から英知を

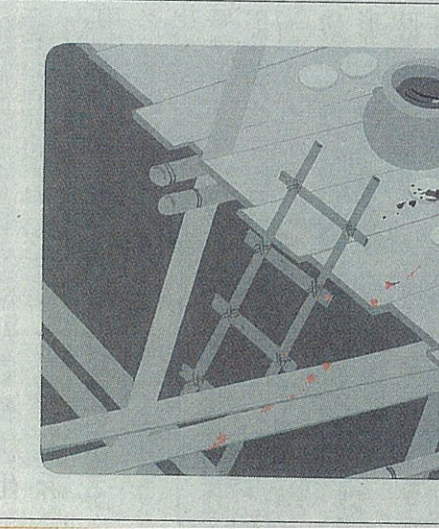
「津浪と人間」というエッセーで「人間の科学は人間に未来の知識を授ける」と述べた。原発事故という危機が図らずも

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使った。結びの綱は麻入りを用いたのだろうか」

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使った。結びの綱は麻入りを用いたのだろうか」



あわねまならぬのだ